

白杵市 施策評価シート
(令和2年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	防災危機管理課	中尾 敬	1512

コード	Ⅲ-7-13	施策名	防災に関する組織の育成・強化
施策の方針	災害に強い組織・人をつくる		
まちづくりの方針	自助・共助の精神を持った市民が暮らし、災害に強いまち(防災)		
5年後のめざす姿	すべての地域で防災に関する組織が組成され、活動が行われるよう支援体制を築きます。自主防災組織や地域の防災士が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を広め、市民一人ひとりが防災活動を実践できるよう地域ぐるみで支援体制の構築をめざします。		
施策の内容	地域の防災リーダー(防災士)及び女性防災士の養成を行います。また、市独自のスキルアップ研修を実施し防災士としての知識や技術の向上を図っていきます。次世代の防災リーダーとして、市内の中学校2年生を対象にジュニア防災リーダーを養成します。		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
自主防災組織未結成の自治会の数		自主防災組織未結成の自治会の数	目標	組織数	0	0	0	0	0	0
			実績		2.0	2				
			達成率		0.0%					
防災士の数		市主催防災士養成講座(白杵市防災士会登録者数)	目標	人	650	660	670	685	700	
			実績		639	651				
			達成率		100.1%					
ジュニア防災リーダーの育成数【累計】		学校や家庭で防災啓発ができるジュニア防災リーダーの育成数	目標	人	120	140	155	170	184	
			実績		98	98				
			達成率		81.7%					
指標の分析		・自主防災組織に関しては、野津地域で統合が進み、結成率は高い状況にありますが、未結成2地区の結成が難しい状況にあります。 ・防災士の養成については、令和元年度に多数養成が行われ、目標達成となったが、令和2年度以降コロナウイルス感染症の影響により、市への割り当て受験者数が減らされたため養成数が抑えられることとなります。 ・ジュニア防災リーダー養成については、コロナウイルス感染症の影響により養成講座が開講できませんでした。	目標							
			実績							
			達成率							

<市民意識調査結果>

市民意識調査結果 (R2調査)	領域名	必要度	満足度
	向上領域	2.63	2.02
市民意識調査結果分析	令和2年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」とも高く、「向上領域」に位置しており、取り組みの向上や維持が望まれています。 昨年と同様に「向上領域」に位置しており、市民にとって身近な取組みとして注目がある事務事業となっているので、引き続きの取り組みが重要と思われます。		

<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題	防災士の資格を取得した後、その資格をどのように活用するか、そして、活用する場(自主防災組織)へどのようにアプローチするかが大事になってくると考えられます。また、防災士の高齢化により自主防災組織との連携に不安が残るので、比較的若い世代の防災士養成が必要です。
------------	--

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R1年度実績	R2年度実績	R3年度見込み			
1	防災士の養成・育成事業	自主防災組織のリーダーとして育成し、知識・技術の向上を図ります。	防災危機管理課		580	600	600	重点継続	Ⅲ-7-12
2	ジュニア防災リーダーの育成	市内の中学校2年生を対象とした次世代のジュニア防災リーダーを育成します。	防災危機管理課		114	118	118	-	Ⅲ-7-12
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計					694	718	718		

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	自主防災組織及び防災士の活動なくして、命を守る行動の定着、自助・共助の精神をもった市民が暮らし災害の強いまちづくりの実現は、厳しいと思われます。皆さんが興味を持つような研修や、実際に必要な避難所開設訓練など、色々な方策を講じて、自主防災組織のさらなる活性化が重要となります。コロナウイルスによりやや遅延気味ではあるが、これまでの事業を維持向上させていく必要があります。	課長評価	目標を達するため、現状維持とする
------	--	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

内部評価	目標を達するため、現状維持とする	指標の一部は目標未達成なものの、継続した取り組みを行う施策であると評価。
------	------------------	--------------------------------------

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
災害が起きた時に適切な対応ができるよう、日ごろから近隣の住民同士で現状の確認をしたり、地域で防災学習を行ったりしながら、注意喚起し続けることが必要だと感じた。また、ジュニア防災リーダーの活動で、学校で一人ひとりに配布されたタブレットの活用方法について検討してほしい。	維持

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

担当課職員が、地区を対象とした出前講座や学校を対象とした出前授業、また、自主防災組織の自主的な訓練にも参加し、講話などを行っている。今後も積極的に活用できるように声掛けしていきたい。
